

フラッシュ開発ツールキットV.4.02 Release 00 への リビジョンアップのお知らせ

SuperH RISC engine、M16C、H8SX、H8S、H8、および740ファミリMCU用のフラッシュ書き込みソフトフラッシュ開発ツールキットを V.4.01 Release 01 から V.4.02 Release 00 へリビジョンアップしました。

1. リビジョンアップ内容

1.1 サポートMCUの追加

サポートMCUに以下の品種を追加しました。

(1) SuperH RISC engine ファミリ

製品名SH7137F および SH7136FのMCU

この品種は RS-232C、HS0008EAUF1H(マイコンオンボード書き込み用アダプタボード)、またはE8aエミュレータ経由でフラッシュメモリへのプログラムの書き込みが可能です。

(2) H8Sファミリ H8S/Tinyシリーズ

製品名H8S/20223F, H8S/20222F, H8S/20203F, H8S/20202F, H8S/20103F
および H8S/20102FのMCU

この品種は、RS-232C、HS0008EAUF1H(マイコンオンボード書き込み用アダプタボード)、またはE8aエミュレータのブートモード用インタフェースまたはエミュレータモード用インタフェース経由でフラッシュメモリへのプログラムの書き込みが可能です。

(3) M16Cファミリ R32C/100シリーズ R32C/111グループ

R5F64116, R5F64115, R5F64114, R5F64112, R5F64111 および R5F64110

この品種は、RS-232C またはE8aエミュレータのブートモード用インタフェース経由でフラッシュメモリへのプログラムの書き込みが可能です。

1.2 サポートインターフェイスの追加

(1) 以下の品種を書き込む場合、RS-232CまたはHS0008EAUF1H経由の書き込みに加えて、E8aエミュレータのブートモード用インタフェース経由でも書き

込みできるようにしました。

H8ファミリ 製品名H8/3684F, H8/36109F, H8/36094F, H8/36077F,
H8/36074F, H8/36054F, H8/36049F および H8/36034FのMCU

(2) 以下の品種を書き込む場合、RS-232CまたはHS0008EAUF1H経由の書き込みに
加えて、E8aエミュレータのエミュレータモード用インタフェース経由でも
書き込みできるようにしました。

H8ファミリ 製品名H8/38447F, H8/38427F, H8/38347F および
H8/38327FのMCU

2. 改修内容

(1) connectスクリプトコマンドの引数にE8aDirectを指定する場合の注意事項を
改修しました。

問題の詳細は以下のURLで、RENASAS TOOL NEWS 資料番号080516/tn4
(2008年05月16日発行) を参照ください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/080516/tn4.htm>

(2) フラッシュ開発ツールキットをE8aエミュレータと組み合わせて使用する
場合の制限事項を改修しました。

問題の詳細は以下のURLで、RENASAS TOOL NEWS 資料番号 080616/tn9
(2008年06月16日発行) を参照ください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/080616/tn9.htm>

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。

以下のダウンロードサイトから最新版のインストーラをダウンロードして
実行することでアップデートできます。(7月30日から最新版を掲載予定)

http://japan.renesas.com/fdt_download

V.4.00 Release 00以降のバージョンを使用している場合は、オートアップ
デートユーティリティを利用してアップデートできます。

(サービス開始は7月31日以降)

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。